

Designed by Vecteezy

寒風をふいきって

はぐるま

マラソン大会

恒例のはぐるまマラソン大会が多摩川の河川敷で行われました。この時期は例年雨・雪・強風に加えて花粉が多く飛散するので、ベストコンディションで10キロを走るのが難しい季節です。今年は強くて冷たい風が、土手を吹き抜け、それとの戦いからスタートしました。

今年は当日が雨予報だったので、2日前に2月24日に延期を決め実施いたしました。

「**勇気とちからをあわせてゴールをめざしてがんばろう!**」という大会目標のもと、11組の

チームに分かれてグループ走で5km〜10kmを全員が、完走・完歩することができました。

目標の意味は、マラソン実行委員の会議で仲間たちから出た「**勇気**」という言葉。

「**10キロを走れる人もいれば、走れない人もいる。10キロが分からない人もいる。走れない仲間が、マラソンに挑戦する事はとても勇気がいる。走れる仲間から勇気をもらって一緒にゴールできるように、グループ走で頑張ろう**」というリーダーたちの願いが込められています。

グループ走は、早く走れる人は遅い人にペースをあわせて走らなくてはなりません。そのような中でも、新記録を出した仲間が5人も出ました。入所2〜3年の若手の仲間が中心でしたが、それは先輩仲間たちが後輩の

No.98

2017年3月17日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区
菅馬場 1-18-17
TEL 044-946-1308

チカラをひきあげ、一緒にゴールを目指して進む「**勇気**」を引き出したのだと思います。ゴールの後のお楽しみは、食事スタッフが前日より仕込みをして作るトン汁。疲れた後のどら焼きはゴールした者のみが味わえる至福のひと時なのです。

毎年、一緒に走ったり歩いたり、応援に来て下さるたくさんの方々、順延にもかかわらず来てくださったことが何より仲間たちの「**走る・歩くこと**」への意欲につながっていたのだと思います。そして、改めて仲間たちの「**本番の強さ**」には驚かされました。高齢化と言われる中まだまだ、10キロ走りきる力は持っていること、仲間たちは「**行事を楽しみにしている**」ことを改めて実感させられた第24回はぐるまマラソン大会でした。

《2作業所 石澤 幸樹》



リスクマネジメント研修報告

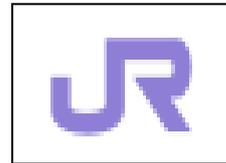
これまで福祉現場には、事故がつきものという風潮がありました。昨今安全を優先させたリスク低減という意識改革が進み、福祉施設を上げて事故防止の取り組みが強化されています。

はぐるまでも、リスクマネジメント研修を重ねてきましたが、28年度は小さな事故ではありませんが、事故報告が多く上がったことを受け、全職員の危機管理意識を再認識していく事を目的に、3回目の研修を開催しました。

ホームなどは生活の場であることから、あらゆる場所がリスクの対象となり得る、作業所は機械や道具があふれているので常にリスクを抱えているという現状から過去に事故につながりそうになった事例（ヒヤリハット）を丁寧に見直す作業を行いました。日々何気ない事でも、「意識して観る」ことで、リスク感度が高められ、多くのことが防げることを改めて見直す機会となりました。

いくつかの課題が提供された中の一つに、

日ごろ見ているようで正確に見ていないことが、このマークを描きましよう！という課題で明白に！！



意外と正確に描けないものです。

このことから、仲間をよく見ているつもりが、そうとは言い切れない反省が頭をよぎりました。

職員一人一人が、仲間をよく見て理解を深め、情報共有していくチームワークが、再発防止に向けた取り組みであることを再確認し、事故の減少に努めていきます。

（ヘルパーステーション管理者 橋本 妙）



※関連記事

ただ今職員会では、労働の分析と仲間個々の力の分析を行っています。その中で仲間たちの技能や認識に、改めて感心することが多くあります。

近所さんだより

「いずみホーム」第1ホームの表札

描いていただいた地域の内田さんに、お礼の手紙を、ホーム長さんから送りました

いずみホーム 齊藤 勇一です
すばらしい表さつをつくっていただき感謝です。
ぼくたちは、いずみホームで仲間とたのしくくらしています。

第1ホームの佐々木 淳です。
きれいなかんばんをつくってくれてありがとうございました。
さすがです。じょうずです。
5にんのなかまと、にぎやかなホームです。



二、マラソン大会 焚火のおじさん

毎日のマラソンコース多摩川サイクリングロードの河川敷にあるくすみ公園で毎日のようにお会いするひまわりの会の皆さんがいます。公園でグランドゴルフやゲートボールの練習をされたり、公園の清掃、整備をしてくださっている地域の方です。

出会いは8年ほど前。当時、菅工舎の仲間が、マラソン出走時に脱いだジャンパーや帽子を土手の上の一塊にして置いて走り出していました。そのころ、走っている間に置いていたものが移動されていたり、帽子がなくなるということがありました。公園を利用させていたひまわりの会さんに「ベンチに置かせてください」とお願いした時、「大丈夫、見といてあげるから」とおっしゃってくださいました。それから毎日のように声をかけてくださり、「熱中症に気を付けてね」とか「今日は、気持ちのいい日だから気持ちよく走れるでしょう。頑張ってくださいね。」と日々の変化に合わせて声をかけてくださいます。また、マラソン大会の時には、「ここには、トイレがないから大変なんだよな」とブルーシートで囲った簡易トイレを用意してくださったり、寒い日には、たき火をしてくださったりと、日々、仲間たちが本当にお世話になっていま

す。地域の皆さんの暖かい見守りに感謝いたします。(はぐるま菅工舎 池田 紋子)



マラソン大会当日は寒い日だったので、焚火で暖を取りました。

三、コンビニと大型店

宮前区水沢に大きなショッピングモールが建ちました。大手家電量販店とドラッグストア、食品スーパーが入っています。

ホームから歩いて10分もかかりません。さてさて、これは便利になったものだと思いがちです。食品スーパーは「安い」で有名とは調理担当のおばさま方。今までは家電関連は車で行かなければならなかったが、これは便利とホーム職員。そして、仲間達もこれは行ってみなければ、どうも気持ちが落ち着きません。

あおば・みどりホームでは、毎週金曜日に皆で近くのコンビニに出かけます。一週間「お疲れさま！」の意味を込めて、ちよいと飲み物&食べ物を買って乾杯をしています。そこに「格安食品」とは心が躍ります。ホーム

職員さんと仲間達はある金曜日にコンビニをお休みし、食品スーパーへと足を運びました。それはそれは「安い」。その安さに魅了された仲間も何人か。と同時に混雑も想像以上だったよう。会計方法は最近の流行に乗っているようで、レジを通った後はセルフ支払いとやや難しい。

そんな買物を数回続けた頃、ふと今まで行っていたコンビニの話仲間達としてみました。それまで毎週金曜日の夜、ほぼ同じ時間に買物に行っていた仲間たちがある日突然行かなくなったなら、コンビニの店員さんたちはどう思うのだろうか？そんな事を仲間達はどう考えているのかな、と。答えはあっさり「半分ずつ行きたい」。今までお世話になってきたコンビニさんにはこれからも買物に行きたい。同時に賑やかで新しいお店での買物もしたい。今までの習慣を大切にしながら、新しいことにも取組んでいく。シンプルで分かりやすい答えを仲間達は見つけました。

コンビニの皆様、今までたくさんお世話になりました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。地域で暮らし続けるということとは、こんな小さなことを続けていくことなのかもしれません。

《みどりホーム 新井多佳夫》



今回のリニューアルでは、スマートフォンを使用する際に、閲覧と操作がし易い設計にさせていただきました。

ホームページをリニューアルしました
 この度、はぐるまの会のホームページを全面リニューアルしました。
 ひと昔前は、HP（ホームページ）って何？と言われていたのですが、現在では法人の運営状況や事業活動の紹介を中心としたHPを開設していることが当然の事として求められています。
 はぐるまの会の施設見学や求人に関しても、ほぼ全ての方がHPの内容を確認して申し込みをされている状況です。

はぐるまの会の理念を中心とした歴史と実践の紹介と地域に根差した日々の暮らしや活動を2つの柱として構成をいたしました。
 今後関係者の皆様が使いやすく喜んでもらえるホームページとなるよう、改善を続けて参りますので、是非ご家族ご友人へのご紹介をお願いいたします。



情報過多と問題提起をされている現代社会において、必要とされる情報の精査が困難さを増してきておりますが、はぐるまの会が大切にしてきた誠実な実践をお伝えできるようなHPにしていきますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《企画室 福田 真》

はぐるまの会のホームページをご覧になるには、<http://hagurumano-kai.com/>のアドレスを直接入力いただくか、「はぐるまの会」にて検索してください。



芋煮を振る舞う男女
 内田唯幸／林万裕美
 (社会福祉法人はぐるまの会)

撮影では、衣装合わせとヘアメイクをしてもらった時には緊張をしたけれど、はぐるま農産の里芋と長ネギがたくさん入った芋煮をみんなに「美味しい」と食べてもらえてうれしかったのと、みんなで多摩川を走ったのが楽しかったです！



イントロダクション／INTRODUCTION

川崎市のPR動画に仲間たちが出演をしました！

「Colors, Future! いろいろって未来。」

多彩な魅力と都市の将来像をブランドメッセージとして発信するために制作をされたこのPR動画の中で、はぐるまの仲間たちは地域で支え合い活躍する人々として出演をしています。

ホームページより閲覧できるように設定をいたしましたので、是非2人の活躍をご覧ください！